

令和3年司法試験合格体験記

2020年度修了（未修コース）中村 健吾

私は、15 期末修として弊ローに入学しました。後輩の皆さんやこれから入学される皆さんに少しでも参考にして欲しいと思うので、自分がどのような学習をしてきたのかを紹介したいと思います。具体的な勉強法はここには書ききれないので、心構え的なモノでも。

大まかに私の3年間を示すと次のとおりになります。入学⇒未修前期単位(民法Ⅰ)を落とす⇒1年次の成績が下から3番目⇒3年次、予備試験受験⇒予備最終合格⇒司法試験合格です。

答案だと論理飛躍が著しいと激しく怒られそうな経緯ですね。思えば遠くに来たものです。

特に未修の人に意識してほしいのですが、授業の成績が振るわなかった、あるいは単位を落としたとしても、それだけで全てが終わるわけではありません。大事なのは結果が振るわなかったとして、次に向けてどうするべきか、どうすればよかったのかということをしっかり考えることです。

私が民法の単位を落としたのは、表面的な勉強だけを繰り返して、勉強した気になっていたからでした。講評に行くことで、如何に自分が理解していなかったのかを目の当たりにしました。それからは復習を中心にして、疑問に思うことをすぐに質問するようにし、勉強の時間も増やすようにしました。

裏を返せば、これを怠り漫然と過ごしていれば同じことを繰り返すだけになります。それこそ何度も単位を落とすことになるし、卒業すら危ぶまれるでしょう。

勘違いをしないでほしいのですが、卒業することがゴールではありません。我々が目指すのは司法試験の合格ただ一点のみです。

合格するために、自分に何が足りなくて、補うために何をやるべきかというのを常に自問するようにしてください。これを繰り返し続けることで、きっと司法試験や予備試験にも合格できます。合格した今だからこそ言えますが、決して手の届かない試験ではありません。

皆さんが司法試験合格という結果を残せるように応援しています。頑張ってください。